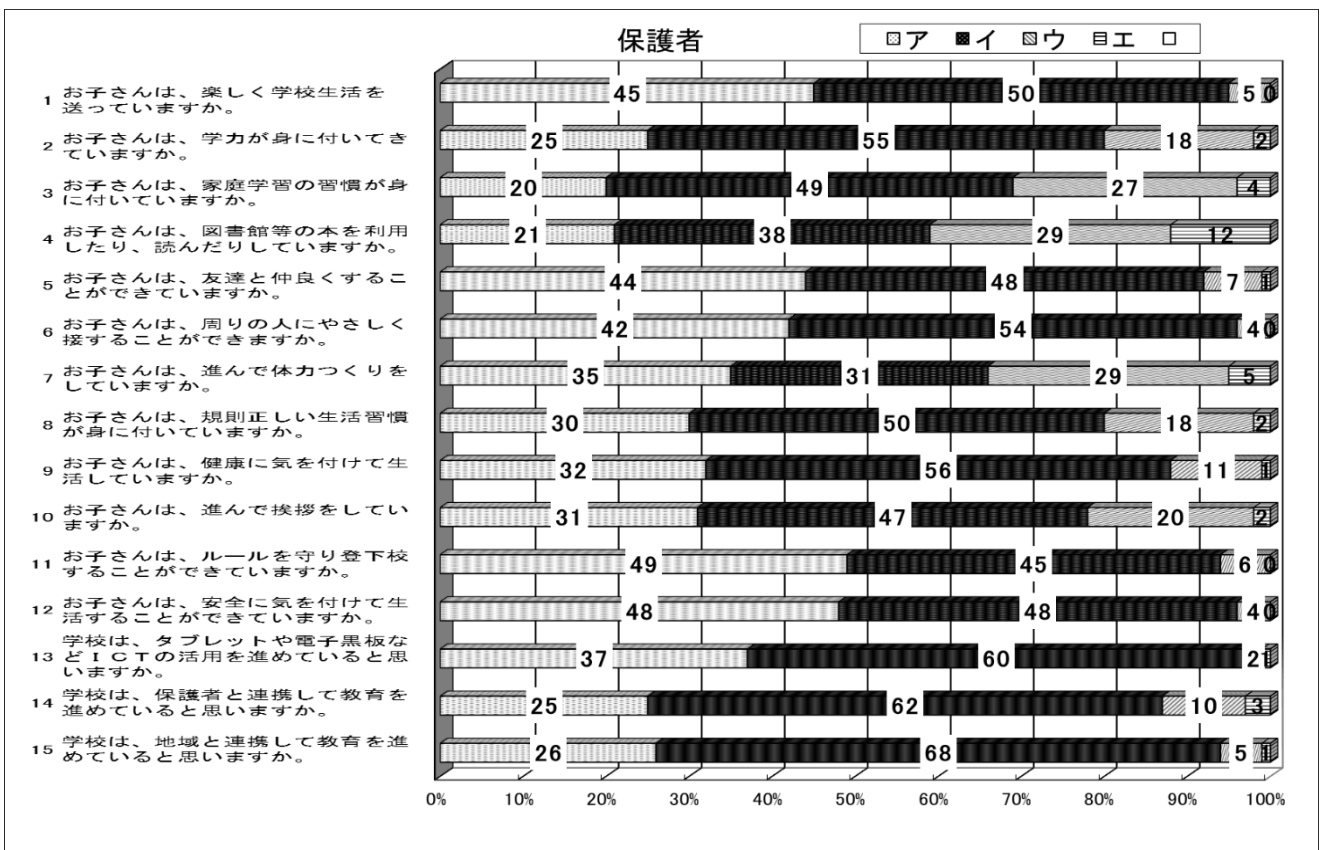
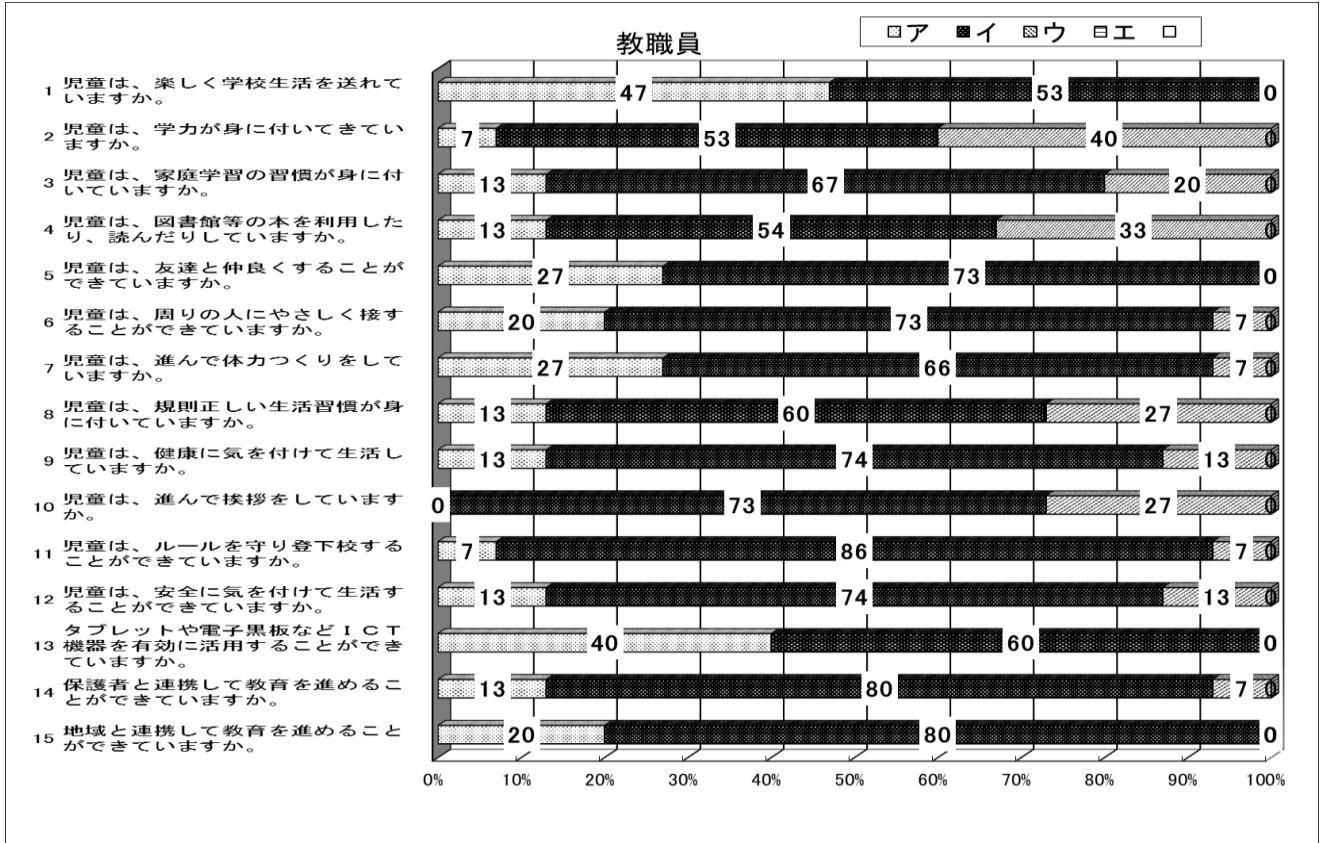
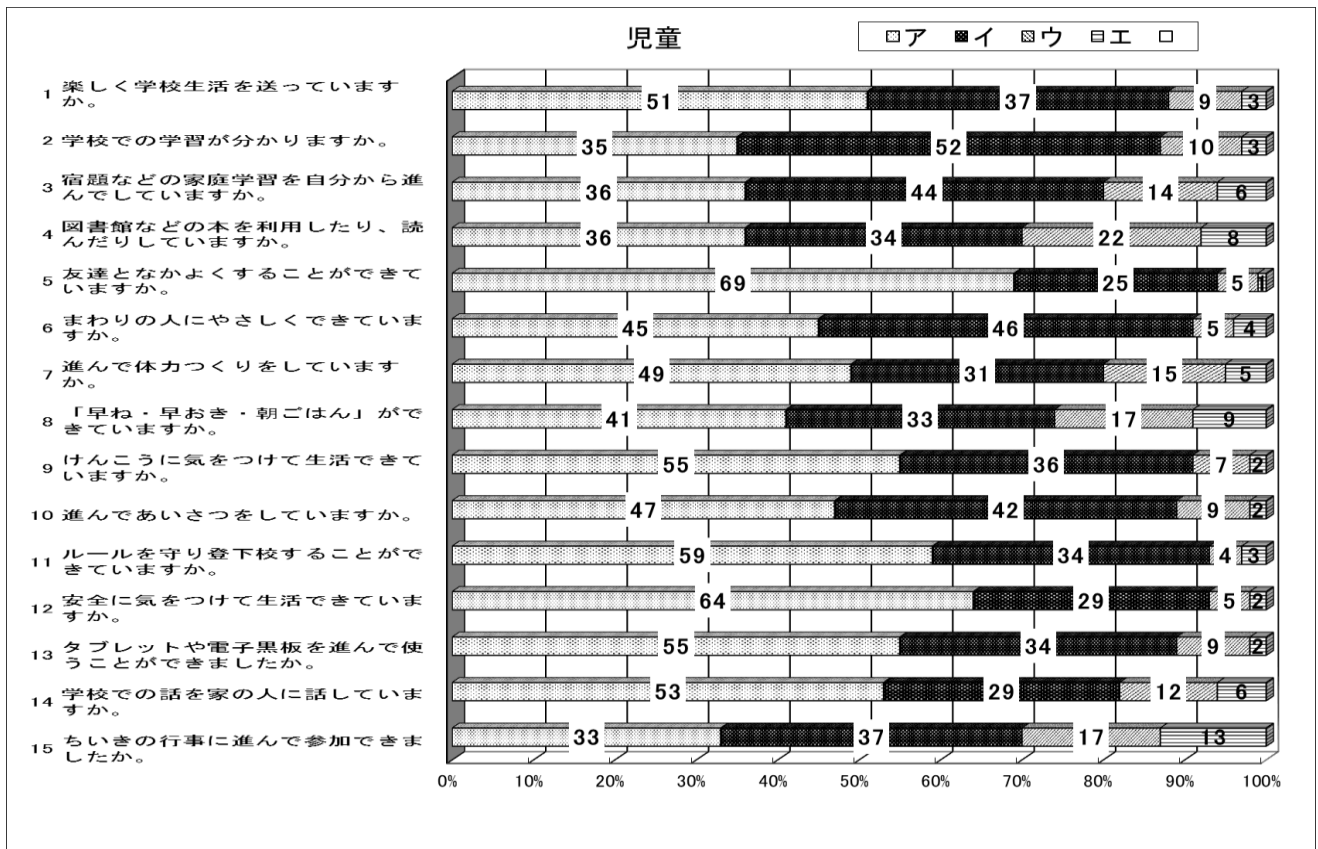


令和7年1月に、教職員、保護者、児童に対して、学校の教育活動に関するアンケート調査を行った。その結果を基に、職員会議で本校教育の改善、充実に向けて協議を行った。令和7年2月に、地域代表者、学校代表者による学校関係者評価委員会を実施し、本校教育の改善、充実に向けて協議を行った。アンケート結果と本校で考察された内容、学校関係者評価委員会での意見は次のとおりである。(回収率 教職員 100%・保護者 61%・児童 99%)

1 アンケート結果と比較

(ア:よくできている イ:できている ウ:あまりできていない エ:できていない)





アンケート結果の比較

※ 評価は5段階評価(5が高評価)で、下のように基準を設けました。

5・・・肯定的意見が80%以上、かつ「よくできている」が50%以上

4・・・肯定的意見が80%以上

3・・・肯定的意見が60%以上80%未満

2・・・肯定的意見が40%以上60%未満

1・・・肯定的意見が40%未満

番号	評価指標	教職員自己評価	保護者アンケート	児童アンケート
1	学校生活について	4	4	5
2	学力の定着	3	4	4
3	家庭学習の定着	4	3	4
4	図書館の利用	3	2	3
5	友達との関わり	4	4	5
6	優しい心づくり	4	4	4
7	体力づくり	4	3	4
8	規則正しい生活習慣	3	4	3
9	健康的な生活態度	4	4	5
10	挨拶をする態度	3	3	4
11	安全な登下校	4	4	5
12	安全に気を付ける態度	4	4	5
13	ICT機器の活用	4	4	5
14	保護者との連携(CS)	4	4	5
15	地域との連携(CS)	4	4	3

2 アンケート結果の考察及び改善策

- ・学校生活については、教職員と保護者は95%以上が楽しく学校生活を送っていると感じている。また、児童においても90%近くが肯定的な意見であるが、できていないと感じている児童が12%いるので、全ての児童が楽しく学校生活を送れるように、全教職員が児童の目線に立ち関わっていききたい。
- ・学力については、教職員と児童との意識の差が大きくなっている。90%近くの児童は、学校における授業の理解が十分だと答えているが、教職員においては肯定的な意見は60%程度となっている。また、家庭学習の習慣が身に付いていないと答えている保護者が31%いる。今後、より児童の実態に合った方法で基礎学力の定着を図り、意欲的に授業や家庭学習に臨めるような手立てを考えていきたい。
- ・図書館の利用については、家庭での読書習慣は定着していないようである。情報を得る手段が本ではなくなくなってきていることはあるが、心や感性を育めるようなより良い読書習慣を身に付けられるようにしたい。
- ・友達や周りの人との関わりについては、教職員・児童・保護者ともに肯定的な意見が90%以上となっており、友達関係は良好な児童がほとんどであり、今後も周りの人を大切にできるようにしたい。
- ・体力づくりについては、教職員と児童は80%以上肯定的な意見だったが、保護者は不十分に感じているようである。体育科での児童の運動量を確保し、今後、縄跳びなどの頑張りを記録し称揚していききたい。
- ・健康的な生活態度については、肯定的な意見が教職員・児童・保護者ともに80%程度以上はあった。規則正しい生活習慣については、教職員と児童は肯定的な意見が70%台となっている。今後はいっそう児童全員に、規則正しい生活習慣が身に付くよう家庭と連携しながら努力していききたい。
- ・挨拶については、児童と教職員・保護者との意識の差が大きくなっている。児童はできていると感じているようだが、教職員・保護者は十分ではないと感じている。挨拶から人間関係を作っていくという意識をしっかりと持たせ、気持ちのよい挨拶ができるようにしていきたい。
- ・安全については、教職員と児童・保護者ともに肯定的な意見が80%以上となっている。特に児童は、90%以上ができていると感じているようだが、十分であると言えない面もあるので、登下校を含め、児童が周りの状況をよく見て行動し、事故やけがのない生活を送れるようにしたい。
- ・ICT機器の活用については、教職員・児童・保護者ともに肯定的な意見が90%程度あり、積極的にICT機器の活用が進められている。
- ・保護者・地域との連携については、教職員・保護者においては肯定的な意見が多いが、児童においては地域行事への参加が低い結果となっている。船木校区は、地域行事が多い地区と考えられるので、児童の地域への関わりを活性化していきたい。

3 アンケートの記述 (○良かった点 ●改善点)

- 子どもたちが楽しく安全に学校生活を送られている。
- 先生が一人一人のことをよく見て対応してくれている。
- 子どもたちを、担任をはじめ、学校全体で見守ってくれていてありがたい。
- 学習に対して一生懸命取り組もうとする姿勢が見られるようになった。
- 友達のことを思いやる気持ちや仲間意識が出てきた気がする。
- ホームページで、子どもたちの学校生活の様子を見られるところがある。
- 地域の方々の支えで、安全・安心に登下校ができています。
- PTA活動の中で unnecessaryな作業を減らしてほしい。
- 体育館に冷暖房設備がほしい。
- 図書館の本をもっと充実させてほしい。
- 子どもたちの言葉遣いが悪いと感じる。
- 子どもたちの持ち物が重い。

4 学校関係者評価委員会の意見 (○良かった点 ●改善点)

- できているという評価が多数を占めており、学校の指導がよくできているのではないかと思います。
- 全児童が満足できることを教職員が目指している様子がすばらしい。
- 教職員と保護者や、児童と評価のずれがある項目については、特に着目していかなければならないのではないかと。
- 地域行事が、子どもたちにとって参加しやすくなるような手立てが必要である。

学校としてアンケート結果や貴重なご意見を参考にさせていただき、PTAや地域と連携・相談しながら、子どもたちがより良い学校生活を送れるように努力と改善を重ねていきたい。